

# 宮つごだより



## 第10号

平成22年8月31日発行

宇都宮市教育委員会広報紙

## 地域の星が 次代を輝かせる!



撮影協力：大塚秀敏さん



**子どもたちの声**

今まではあまりサッカーをしたことがなかったけれど、今回の事業を通して大好きになりました。

栃木SCの選手とサッカーができて、とてもうれしかった。

ミニゲームのときは、試合だけではなく、みんなが応援もがんばることができた。

## 体力向上サポーター派遣事業

宇都宮市教育委員会では、子どもたちの体力低下に歯止めをかけ、生涯を通じて健康に生活できる心と体を育成することを目指し、平成21年1月に「つつのみや元気つ子プロジェクト」を策定し、「体力の増強」「健康の管理」「食育の推進」を柱に、各事業を展開しています。

その事業の一つである「体力向上サポーター派遣事業」では、栃木県内の四つのプロスポーツチーム（栃木サッカークラブ、宇都宮ブリッツェン、リンク栃木ブレック、日光アイスバックス）と連携し、子どもたちに運動の楽しさを味わわせながら、体力の向上や基礎となる技能の定着を図るため、体育の授業などに外部講師としてプロスポーツ選手を派遣しています。

今年度第一回目の本事業として、栃木サッカークラブによる「ゆめプロジェクト」が、宇都宮市立田原小学校にて6月4日（金）に行われ主将の落合正幸選手とゴールキーパーの飯田健巳選手が来校されました。準備体操やボールを使った補助運動、ミニゲームなど、選手と児童が触れあひながら楽しく活動することができました。

また、夢に向かってがんばることのすばらしさや最後まであきらめずに取り組むことの大切さを選手が児童に伝え、参加した児童たちは目を輝かせていました。

田原小学校では、「かしこく」「なかよく」「元気よく」の学校教育目標のもと、「強い心と体」の育成を目指し、体育の授業や行事を通して体力の向上を図っており、その実現に向け、本事業をはじめとしてさまざまな活動に取り組んでいます。

市教委では、今後ともプロスポーツチームとの連携を図り、本事業を進めるとともに、「つつのみや元気つ子プロジェクト」の各事業を通して、児童生徒の体力向上に努めていきます。

学校健康課 028(633)2756

## 教育委員コラム

宇都宮市教育委員会では、教育行政の成果や取組を市民の皆様にお知らせする「知ってもらおう運動」を推進しています。

今年度のテーマは「きらきらびと☆見つけた!」です。教育の様々な分野で頑張る人たちの活躍を多くの皆様に知ってもらおうことが、彼らの自信につながり、同じ道を歩む人には大きな目標になると考えたからです。

知ってもらおうことが、人を育てることにつながる。市教委では、あらゆる機会を通じて、家庭や学校、地域で頑張っている方々を皆様に紹介していきたいと考えています。

今号の「宮つごだより」では、学校の体育指導を通して、夢に向かって頑張ることの大切さを子どもたちに教えてくれたプロスポーツ選手の活躍や舞台芸術の都ミネアポリスでの公演を決め、市民芸術祭から世界へ羽ばたくことになった子どもたちや指導者のお話、修学旅行先でのほんのちよつとの親切から生まれた子どもたちと元消防士ご夫婦の交流などを紹介しています。

これらの記事をお読みにになり、皆様の心に伝わるものがあれば幸いです。

さて、ダイヤモンドがダイヤモンドでしか磨けないように、人は人でしか磨けないものである事を最近痛切に感じています。過保護でなく、過管理や過干渉でなく、そして放任でもなくその子一人ひとりに適した手作業での磨きが求められています。

市教委では、このようなきめ細やかな磨きを施すため現在、「地域はみんなの学校」を目指し学校を地域や家庭で盛り立てる「地域学校園」の設置を進めています。この事業は学校の盛り立て役である地域や家庭が学校教育における責任分担の意識をどこまで高められるかが成否のポイントとなってくるものと思います。

地域学校園での活動を通じ、人と人との関係性を良くしようとする「輝く大人の背中」を子どもたちに示すことができたら素晴らしいと思います。

損得でなく善悪で行動できる宮つ子を老若男女総がかりで育み、率先して「おこな磨き」やって参りましょう。



宇都宮市教育委員会  
おお や す ひろ  
大矢 裕啓 教育委員